

12月10日(木)は、「世界人権デー」です。12月4日(金)～10日(木)の「人権週間」に先立ち、綿打小学校では、11月中に「人権集中学習」を行いました。また、12月3日(木)～9日(水)は「障害者週間」でした。さらに、12月は、群馬県の「いじめ防止強化月間」になっています。引き続き、「思いやり」があり「温かい心」で接することのできる児童を育て、お互いに「いじめ」のない「優しい」人間関係づくりを目指してまいります。



PTA「人権講演会」おこなわれる ～心と体をつかって一緒に歌おう～



【わたし】(手話)

【あなた】(手話)

過日の11月12日(木)、PTA教養部主催による「第1回人権講演会」(学校公開)が講師の富澤栄子先生(音楽家)をお迎えして行われました。全校児童をはじめ、保護者・地域の方々の参加により、ゴスペルソング(黒人霊歌)を一緒に歌って、体育館で楽しいひとときを過ごすことができました。オープニングの「アメイジンググレイス」の曲とともに、ゴスペルソングの由来をうかがって、人種による差別や偏見の不当さと平等な社会の構築の必要性について考えるよいきっかけとなりました。引き続き、富澤先生の情感のこもった歌声と曲のリズムとメロディーに合わせて、会場みんなが体をつかって一緒に歌うことにより、ゴスペルソングのもつ魅力に心が揺さぶられ、心の奥底から楽しむことができました。そして、子どもたちには笑顔があふれ、心が満たされ、豊かな心を育むことができました。会場の雰囲気盛り上がり、あっという間の一時間でしたが、富澤先生のご配慮により、アンコール曲もお受けいただき、大合唱をして終わることができました。

当日は、保護者対象の授業参観や一般公開による授業参観もありました。講演会や授業参観にみえたたくさんの皆様には、ご来校をいただき、たいへんありがとうございました。

午後は、5・6年生の児童を対象とする「スマホ・携帯安全教室」がありました。保護者を対象とする講演もあり、参加者の方には、真剣な眼差しで聴いている様子うかがえました。携帯電話やスマートホンの利用に際しては、悪質な利用者等から子どもの安全を守り、時間と費用の浪費を避けるためにも一定の心構えが必要であり、安全な活用の仕方についてご家族で考えるためのよいきっかけになったものと思います。

— PTA「親子ヨガ」教室 — でリラックス



11月7日(土)には、PTA学年部主催による「親子ヨガ」教室が本校の体育館を会場として、大人34名、子ども36名、合計70名の参加のもとに行われました。講師として豊森栄子先生(ヨガインストラクター)、アシスタントとして桑原一美先生(エアロビインストラクター)のお2人をお迎えして、ご指導をいただきながら親子で一緒にエアロビとヨガを体験し、会場内が熱気であふれました。まず、桑原先生のご指導のもとで、ダンス曲に合わせて、エアロビダンスをして体をほぐし、気持ちよい汗を流しました。引き続き、豊森先生のご指導により、ヨガマットの上で実際にヨガを体験し、リラックスしながら体の柔軟性を高め、健康な体作りに挑戦しました。当日は、時期的に会場内の冷え込みが心配されましたが、寒さが内輪だったので、伸び伸びと自然に体を動かすことができました。

～「赤い羽根共同募金」へのご協力をありがとうございました～

今年も「赤い羽根共同募金」へのご協力を呼びかけましたところ、19,426円の金額が集まりました。12月1日付で、群馬県共同募金会太田支部に届けましたので、ここにご報告を申し上げます。皆様のご協力に、心から感謝を申し上げます。

文化芸術による子どもの育成事業(文化庁他主催) 演劇鑑賞会「だいだいの空」に児童も出演!

平成27年度「文化芸術による子どもの育成事業一巡回公演事業一」(文化庁、群馬県、群馬県教委、太田市教委主催)として、11月18日(水)に「トム・プロジェクト」の皆さんを本校の体育館にお迎えし、演劇鑑賞会「だいだいの空」(トム・プロジェクトファミリーシアター)が行われました。全校児童と参観に見えた保護者・地域の方々は、代表児童の体験をまじえて、芸術の秋を満喫することができました。

この公演は、昨年度、一昨年度と、2年連続してお迎えした「中部フィルハーモニー交響楽団」、「東京佼成ウインドオーケストラ」による文化庁巡回公演事業と同様の趣旨で行っているものです。昨年度は、ボディーパーカッションを体験したり、オーケストラの演奏で校歌を歌ったりするなどして、たいへん盛り上がりました。

今回は、「演劇鑑賞会」という新たな視点から、「だいだいの空」の劇を楽しむことになりました。トム・プロジェクト代表の橋本二郎さんのお話では、「3年連続で、この貴重な公演を受けられることは、ほんとうに珍しいことではないでしょうか。」とうかがいました。

公演に先立つ10月23日(金)には、ワークショップが行われ、3年生10名の代表児童が物語の場面に合わせた演技指導をスタッフからいただきました。代表児童は、公演当日の参加型の「演劇鑑賞会」に向けて、3年生担任の先生からの指導を受けて当日を迎えました。

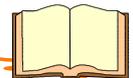
当日は、朝早くから、スタッフが大道具・小道具を積んだ大型トラックとともに来校し、男性の先生方も作業に加わり、荷下ろしが始まりました。午前中には、本格的な舞台と設備が完成して、午後の公演に向けて準備が整いました。

劇の内容は、太平洋戦争で家族を失ったおじいさん・文蔵と小学生の子どもたちや、大和という少年との交流を描いたものです。物語には、「愛と勇気と友情」、そして「夢と希望とあそび」がいっぱい詰まっていました。

開始の時間を迎えると、子どもたちは、プロの出演者の親しみとユーモアのある演技に惹きつけられ、物語の内容に引き込まれていき、笑顔がいっぱいにあふれていました。また、代表児童の真剣な演技には、多少のはにかみをみせながらも、真剣に演じている姿があり、とても微笑ましくもあり、一生懸命な姿に目を奪われました。

公演後には、橋本さんから「公演中の児童の参観態度がとても真剣で、反応がよかったのでやりがいがありました。」とのお褒めの言葉をいただきました。綿打小学校の公演は、県内の2校として選ばれたうちの1校です。

演劇指導や鑑賞の機会を通して、子どもたちには、演劇鑑賞の力が身につく、豊かな発想力やコミュニケーション能力が生まれ、夢と希望が広がったことでしょう。



読み聞かせスクールボランティアの皆さんありがとう

11月25日(水)、本校体育館で「感謝の集い」が行われました。日頃、お世話になっている「読み聞かせスクールボランティア」の方々をお迎えして、代表児童から感謝の気持ちをお礼のメッセージにして伝えました。ボランティアの皆さんからいただいた寄せ書きをA棟1階東の階段付近(保健室横)に掲示しました。いつも、読み聞かせをありがとうございます。



タグラグビー県予選<優勝>「ザ綿打セブン」

「第12回全国小学生タグラグビー選手権大会県予選」兼「第10回ワイルドナイツ杯」が、12月6日(日)、パナソニックラグビーグラウンド(太田市龍舞町)で開かれ、20チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。綿打小学校からは、3チームが参加し、日頃の練習の成果を発揮して、各チームの選手が活躍しました。そして、本校の「ザ綿打セブン」が決勝戦までの7試合を戦い抜き、みごと優勝に輝きました。その結果、平成28年1月17日(日)に栃木市で行われる北関東大会に代表チームとして出場することになりました。